

文 讚 礼
——三 帰 依 文——

(講師独誦)

人身受け難し、今已に受く、仏法聞き難し、今已に聞く。この身今生に向かつて度せずんば、さらにいずれの生に向かつてかこの身を度せん。大衆諸共に至心に三宝に帰依したてまつるべし。

(会衆一同)

自ら仏に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、大道を体解して無上意を發さん。

自ら法に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、深く経蔵に入りて智慧海の如くならん。

自ら僧に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、大衆を統理して一切無碍ならん。

(講師独誦)

無上甚深微妙の法は、百千万劫にも値遇うこと難し。われ今見聞し受持することを得たり。願わくは如来の眞実義を解したてまつらん。